

PC/AT 互換機でのハードウェア管理

情報実験 INEX 第6回 (2024/06/14)

北海道大学 大学院理学院 修士課程 2 年
高橋 聖輝

はじめに

今日はみなさんがバラバラにした計算機を
元通りに組み立てる回です

今回は計算機が起動した後、
どのように OS が立ち上がるのかを学びます

本日のレクチャー内容

- ファームウェア
 - BIOS/UEFI
- POST
- UEFI の操作

本日のレクチャー内容

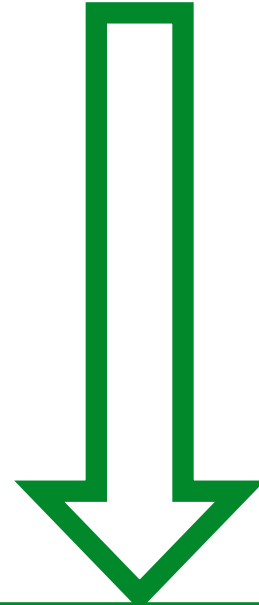
- ファームウェア
 - BIOS/UEFI
- POST
- UEFI の操作

計算機使用までの大まかな流れ

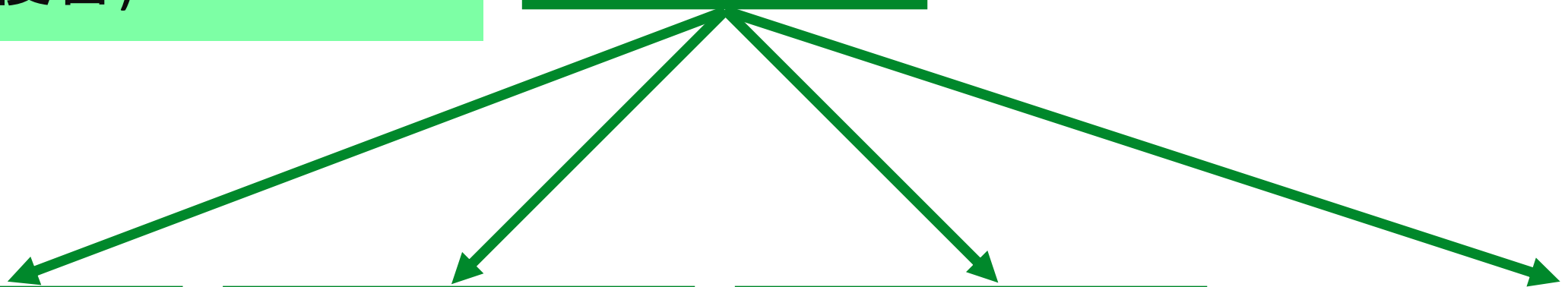
- ・ 計算機を管理，操作するための基本ソフトウェア
- ・ アプリケーションソフトウェアとハードウェアの仲介を行う

(第二回の復習)

主電源投入



OS



アプリケーション
ソフトウェアA

アプリケーション
ソフトウェアB

アプリケーション
ソフトウェアC

.....

計算機使用までの大まかな流れ

主電源投入

主電源投入後、
直接 OS が起動する
わけではない

OS

アプリケーション
ソフトウェアA

アプリケーション
ソフトウェアB

アプリケーション
ソフトウェアC

.....

計算機使用までの大まかな流れ

主電源投入

UEFI (BIOS)

．．． PC/AT互換機における
ファームウェア

OS

アプリケーション
ソフトウェアA

アプリケーション
ソフトウェアB

アプリケーション
ソフトウェアC

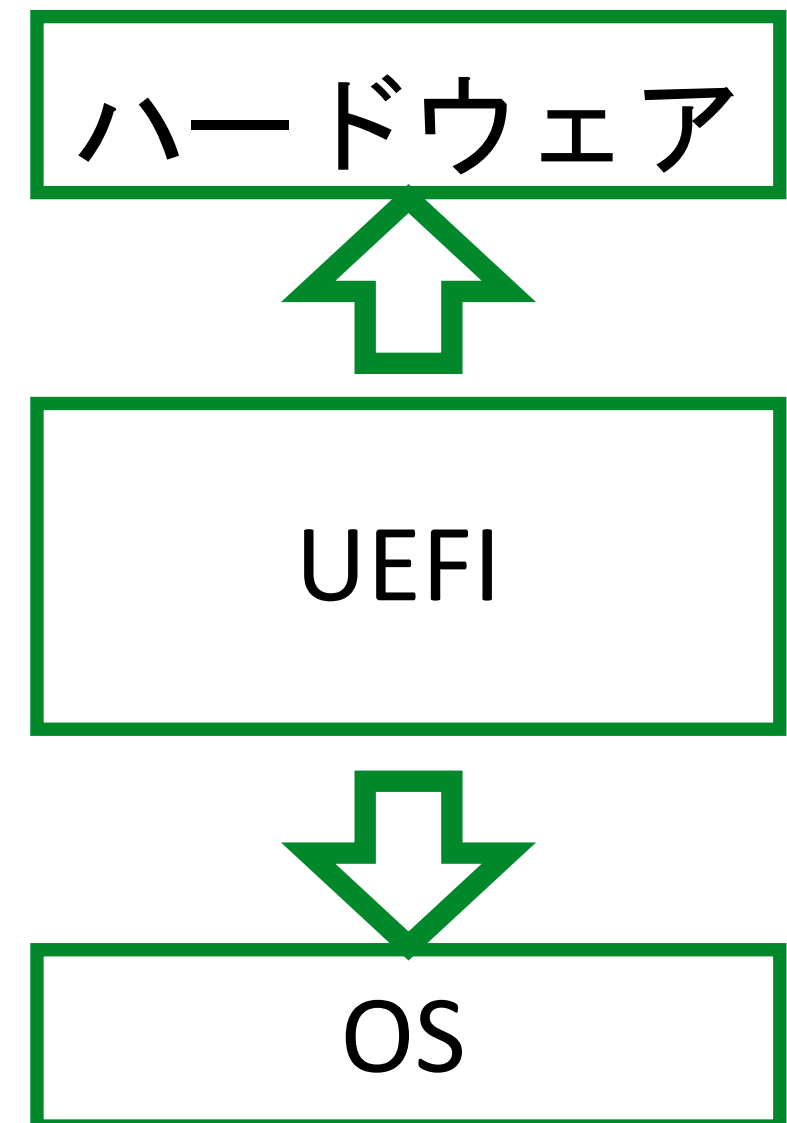
．．．．．

ファームウェア

- ハードウェアを直接制御するためのソフトウェア
 - ハードウェアに固定された (firm) ソフトウェア
 - フラッシュメモリに組み込まれている
 - デジカメ, 電卓, その他電子機器一般でも使われる
- PC/AT 互換機のファームウェア : BIOS, UEFI

UEFI (Unified Extensible Firmware Interface)

- 主電源投入後から OS 起動の準備を行うファームウェアとそのインターフェース
 - PC/AT 互換機に必要なハードウェアを管理
 - かつては BIOS(Basic Input/Output System) と呼ばれるファームウェアが起動準備を行っていた



UEFI のセットアップ画面

ASUS UEFI BIOS Utility - EZ Mode

終了/アドバンスト

08:55

水曜日 [05/29/2013]

P8H77-V

BIOSバージョン : 1103

CPUタイプ : Intel(R) Core(TM) i5-3470 CPU @ 3.20GHz

スピード: 3314 MHz

トータルメモリー : 8192 MB (DDR3 1372MHz)

日本語

温度

CPU +86.0°F/+30.0°C

MB +77.0°F/+25.0°C

電圧

CPU 0.992V 5V 5.120V

3.3V 3.360V 12V 12.288V

ファンスピード

CPU_FAN 1413RPM

CHA_FAN1 1486RPM

CHA_FAN2 1668RPM

PWR_FAN 495RPM

システムパフォーマンス

静音

パフォーマンス

省エネルギー

Optimal

起動優先順位

マウスでドラッグするか、キーボード操作でブートデバイスの優先順位を設定します。

Shortcut (F3)

Advanced Mode (F7)

ブートメニュー (F8)

初期設定 (F5)

UEFI のある場所

計算機の電源を切っても情報が消えないよう、フラッシュメモリに記録されている

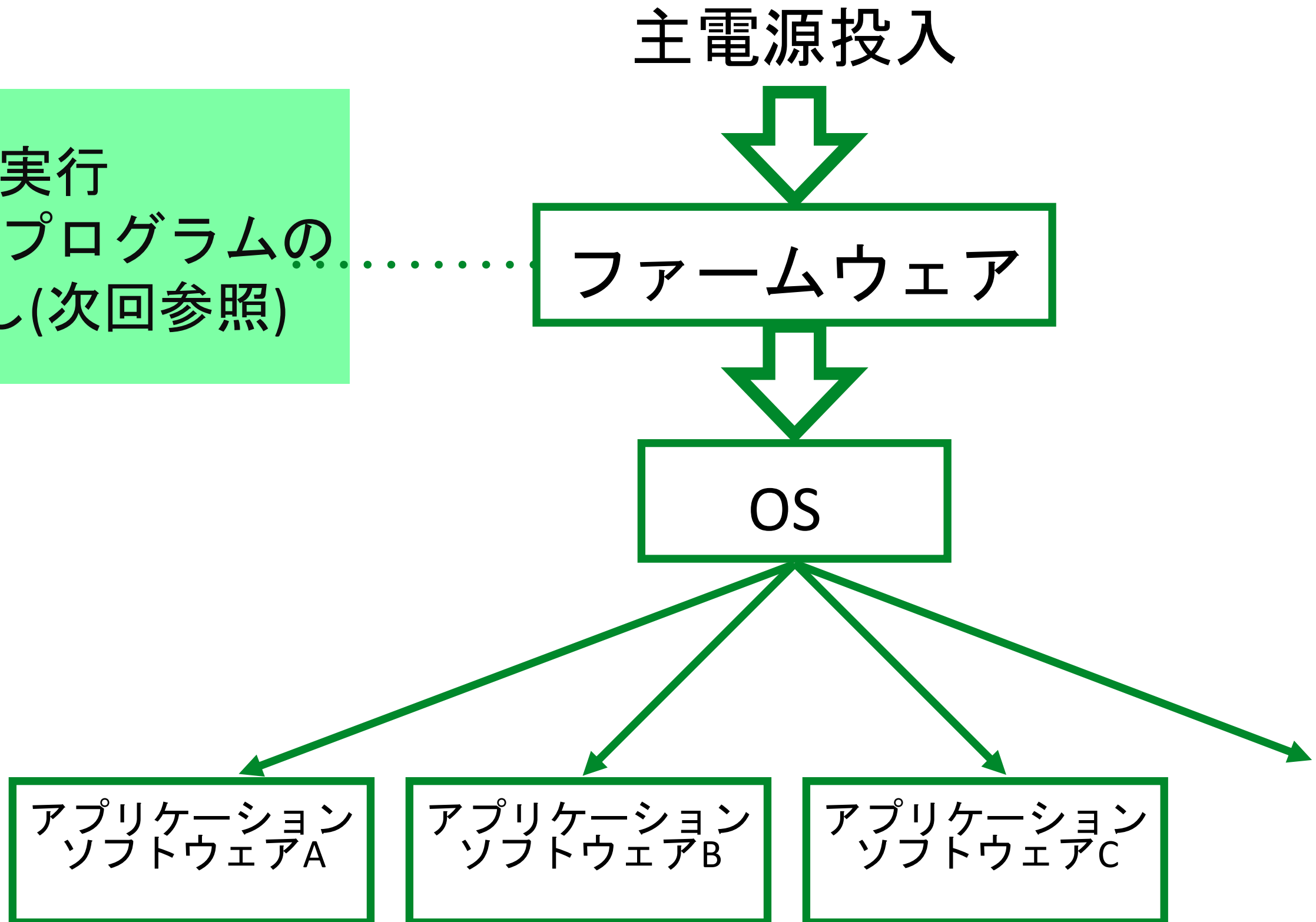


本日のレクチャー内容

- ファームウェア
 - BIOS/UEFI
- POST
- UEFI の操作

計算機使用までの大まかな流れ

- ・ POST の実行
- ・ OS 起動プログラムの呼び出し(次回参照)



POST (Power On Self Test)

主電源投入後に行われる, ハードウェアの初期化と診断

■ POST の基本的な流れ

1. UEFI 自身 (プログラム) に問題がないかチェック
2. メインメモリの認識・サイズ確認・動作チェック
3. 各ハードウェアの検出・初期化・登録
 - ・ CPU, マザーボード, メインメモリ, GPU, キーボード, HDD
 - ・ ハードウェアに問題がある場合はエラー表示, 警告音
 - ・ 各ハードウェアの固有ファームウェアをセットアップ
4. UEFI セットアップ画面へ移行

POST 実行の出力結果の例

AMIBIOS(C) 2012 American Megatrends, Inc.

ASUS P8H77-V ACPI BIOS Revision 1103 ← マザーボード情報

CPU : Intel(R) Core(TM) i5-3470 CPU Q9550 @ 3.20GHz

Speed : 3200 GHz ← CPU情報

Total Memory: 8192MB (DDR3-1333) ← メモリ情報

USB Devices total: 1 Drive, 1 Keyboard, 1 Mouse, 2 Hubs

← USB 接続情報

Detected ATA/ATAPI Devices...

← SATA接続情報

SATA6G_1 ST3250620NS

SATA6G_2 HL-DT-ST DVDROM GH24NS95

本日のレクチャー内容

- ファームウェア
 - BIOS/UEFI
- POST
- UEFI の操作

UEFI セットアップ

- UEFIの設定情報の確認, 変更
 - 各種ハードウェア (CPU やメモリなど) の仕様確認や動作を設定できる
- 操作時に十分注意する必要あり
 - 不適切な設定をすると起動できなくなったり破損したりすることがある



セッティング画面への入り方

- ・ メーカーロゴ画面で指定のキーを押す
 - 情報実験機では “F2” or “delete” キー
 - 入力受付は数秒間. タイミングを逃した場合は再起動する



Please press DEL or F2 to enter UEFI BIOS setting

Please press DEL or F2 to enter UEFI BIOS setting

UEFI セットアップメニュー

- こんな画面になれば無事成功



ハードウェアモニタリング

- ハードウェアの物理状況監視
 - CPU温度, ファン回転速度などをリアルタイムに取得



起動優先順位設定

- OS 起動プログラムを探すハードウェアの順番を設定



Advanced Mode

- ハードウェアの仕様や動作パターンを細かく設定できるモード (詳しくは実習で！)



UEFI セットアップで誤った設定をした場合

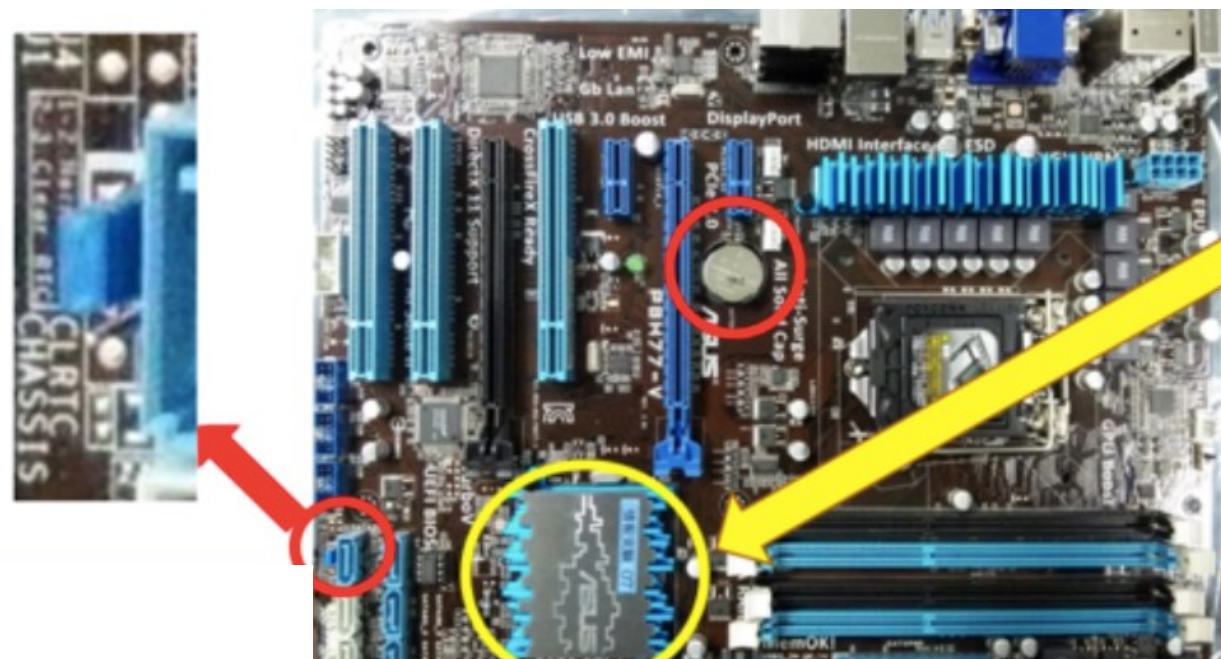
CMOS クリアを実行する

CMOS メモリに記憶されたUEFI の設定情報を強制的に消去すること

- ボタン電池を外してしばし待ち，再度取り付ける
- 専用のピンを短絡させる
- マザーボードの基盤やバックパネルにある CMOS クリアボタンを押す

■ CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor) メモリとは

- UEFI セットアップの内容が記録されたメモリ
 - チップセット内に格納
 - 揮発性メモリのため，
電池で常時通電されている



CMOS
メモリが
ある場所

UEFI アップデート

- 現在の UEFI から, 新しい UEFI への更新
 - ハードウェアの新規導入や UEFI 自体の不具合の修正のために UEFI のアップデートが必要になる場合がある
- ただし**無保証**
 - 失敗すると起動ができなくなるため, どうしても必要な場合 (例えば新規ハードウェアの導入など) 以外は避ける

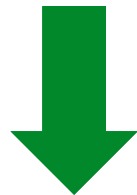
まとめ

計算機が起動してOSが立ち上がるまでの動作 PC/AT 互換機の場合

主電源投入



UEFI



OSの起動



POST 実行
主電源投入後に行われる,
ハードウェアの初期化と診断

本日の実習

- バラバラにした計算機を元通りに組み立てる
- 正しく組み立てられているか確認する
- UEFI の設定を変更してみる

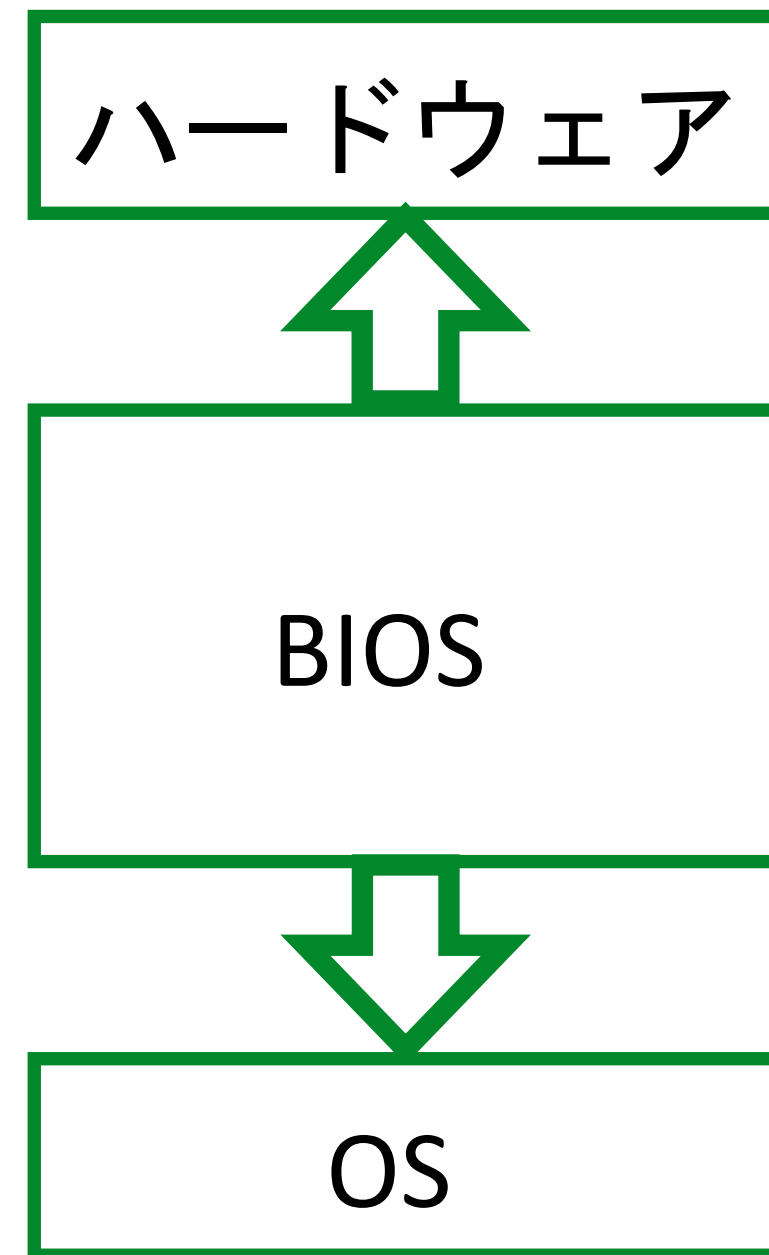
参考文献

- INEX 2019 第六回 計算機の組み立て
 - <http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~inex/y2019/0524>
- INEX2018 第五回 ハードウェア機器の解説と分解
 - <http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~inex/y2018/0518/>
- IT 用語辞典 e-Words
 - <http://e-words.jp/>
- 魚田勝臣 著, 共立出版, コンピュータ概論 第7版, 2017
- 松永融 著, 技術評論社, BIOS/UEFI 完全攻略, 初版, 2013
- 滝伸次 他, インプレスジャパン, BIOS/UEFI 完全攻略読本 初版, 2012

付録

BIOS (Basic Input/Output System)

- ・ 長年使われてきた PC/AT 互換機のファームウェア.
- ・ 主電源投入後から OS 起動の準備を行っていた.
 - PC/AT 互換機を使い始めるために必要な最低限のハードウェアを管理.
- ・ 近年のハードウェアの進化への対応が難しくなった.
 - 例 : 2.2TB 以上の容量を持つ HDD を扱うことができない.



BIOS のセッティング画面

BIOS SETUP UTILITY

Main	Advanced	Power	Boot	Exit
------	----------	-------	------	------

```
System Time                [12:34:56]
System Date                [Fri 11/24/2005]
Legacy Diskette A         [1.44M, 3.5 in.]
Language                  [English]

> Primary IDE Master      : [ST38001A]
> Primary IDE Slave       : [Not Detected]
> Secondary IDE Master    : [Not Detected]
> Secondary IDE Slave     : [HL-DT-ST DVDRAM GS]
> Third IDE Master        : [Not Detected]
> Fourth IDE Master       : [Not Detected]
> IDE Configuration

> System Information
```

Use [ENTER], [TAB]
or [SHIFT-TAB] to
select a field.

Use [+] or [-] to
configure system Time.

<>	Select Screen
	Select Item
+ -	Change Field
Tab	Select Field
F1	General Help
F10	Save and Exit
ESC	Exit